

■主な重点推進事業の予算額

1 原子力災害の克服

除染対策事業	73 億 9,859 万 3 千円
内部被ばく検査事業	1,264 万円
イメージUP 観光誘客事業	731 万 9 千円
食の安全・安心推進事業	306 万 2 千円
食品放射能測定システム検査事業	2,289 万 9 千円
屋内遊具施設管理運営事業	836 万 6 千円

2 市民生活の充実

救急医療体制強化支援事業	1,980 万円
みんなが安心できる地域医療づくり事業	89 万 8 千円
糖尿病ゼロ作戦事業	203 万 7 千円
子ども・子育て支援事業計画策定事業	317 万 8 千円
こども医療費助成事業	3 億 7,519 万 5 千円
放課後児童クラブ事業	7,252 万 4 千円
家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業	20 万円
地域包括支援センター運営事業	6,069 万 5 千円
高齢者サロンあったかセンター事業	198 万円

3 安全で快適な暮らしの実現

地域防災計画策定事業	107 万 8 千円
消防屯所等整備事業	2,781 万 1 千円
災害に負けない農業用施設強化事業	3,000 万円
道路新設改良事業	4 億 182 万円
葉ノ木平地区関係事業	1 億 9,021 万 9 千円
街路事業	2 億 8,005 万円
公共下水道管路施設整備事業	5 億 4,910 万円
循環バス運行事業	2,042 万 7 千円

復興はもちろん、魅力ある地域と人づくりに力を入れているんだね。



4 産業・経済の復興

工業の森道路整備事業	1 億 5,000 万円
産業支援センター運営事業	2,402 万 7 千円
農商工連携推進事業	353 万 9 千円
しらかわ型農地利用集積推進事業	850 万円
老人福祉施設再生可能エネルギー導入事業	1 億 4,111 万 7 千円
再生可能エネルギー市民啓発事業	50 万円
再生可能エネルギー推進導入補助事業	1,400 万円
大河ドラマ「八重の桜」キャンペーン事業	390 万 1 千円
中心市街地空き店舗対策事業	479 万 5 千円
きつねうち温泉リニューアル事業	1,400 万円

5 魅力ある地域と人づくり

集会所整備事業	1 億 4,112 万 7 千円
地上デジタル放送共聴施設補助事業	2 億 5,213 万 1 千円
歴史的風致形成建造物保存修景事業	1,218 万 3 千円
白河歴史教科書作成事業	415 万 8 千円
白河の歴史再発見！事業	66 万 2 千円
白河関跡整備事業	2,307 万 4 千円
市民文化会館建設事業	2 億 3,401 万 4 千円
市民文化会館運営管理事業	1,125 万 2 千円
白河第二小学校建設事業	2 億 1,429 万 5 千円
大信中学校大規模改造事業	2 億 529 万 4 千円
白河中央中学校建設事業	7,672 万 5 千円
表郷公民館建設事業	1 億 93 万 4 千円
生涯学習フォーラム事業	50 万円
小峰城跡災害復旧事業	2 億 4,554 万 8 千円
行田市・桑名市・白河市友好都市提携 15 周年記念展覧会	253 万 6 千円

◎復興から発展へ

平成25年度当初予算

市では、毎年6月と12月に財政状況をお知らせしています。今月号では、平成25年度当初予算、重点推進事業の予算額や市債・企業債および基金の状況などをお知らせします。

今年度はどんな予算になったのかな。見てみよう。



イラスト提供
本町がすこさん「ぼんごちゃん」

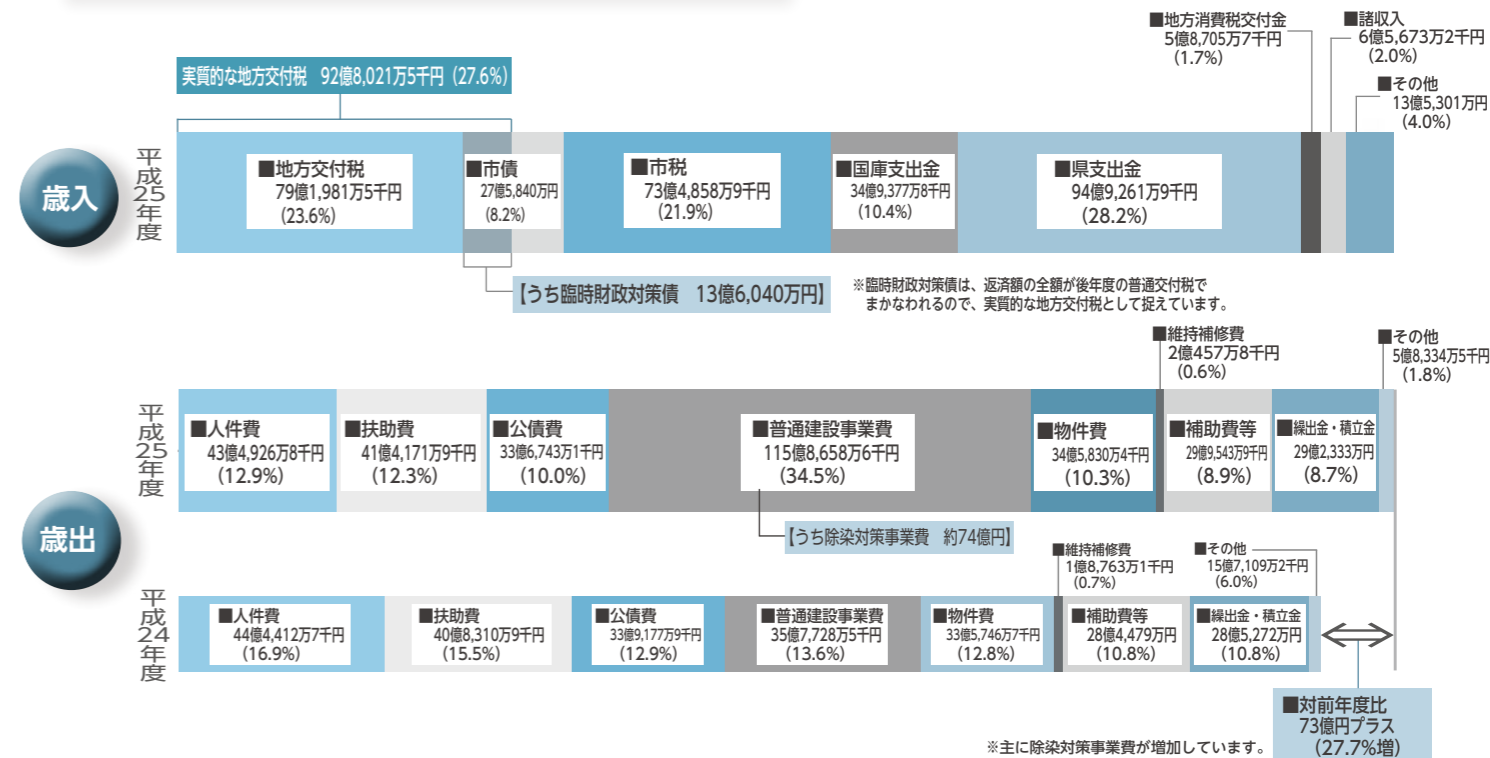
■予算の概要

一般会計予算の総額は336億1千万円で、前年度と比べて27.7%、73億円増加しました。総額が前年度を上回るのは4年連続で、過去最大規模の予算です。
除染対策事業費約74億円を除くと、前年同規模の約262億1千万円となっています。

特徴

東日本大震災からの復興・再生を加速させるため、放射線対策などを着実に進め、「安全で安心な暮らしの確保」に努めるとともに、今回の災害を教訓とした「災害に強く持続的に発展するまちづくり」や、地域住民のつながりや支え合いによる「地域の絆と協働の構築」を実現するための施策に対し、重点的に配分しました。

336億1千万円の積極型予算



■市民1人当たり・1世帯当たりの市税の負担とサービスの状況

◇1人当たりでは？

*市税の負担 115,826円
*市民へのサービス 529,750円

◇1世帯当たりでは？

*市税の負担 310,381円
*市民へのサービス 1,419,581円

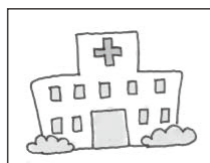
1人当たりの金額にするとわかりやすいね。



■1人当たりに使われるお金(529,750円)の内訳

歳出予算額を行政の目的別に分類し1人当たりの額を算出したものです。

衛生費 140,320円



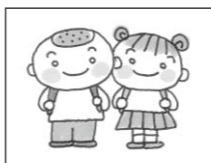
各種検診や予防接種、ごみ処理、除染など

民生費 118,876円



老人福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など

教育費 60,707円



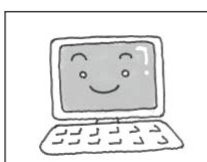
幼稚園、小・中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など

公債費 53,040円



道路整備や学校建設などを行うために国などから借入れたお金の返済

総務費 49,339円



庁舎の維持管理、行政の電子化推進、市税の徴収など

土木費 45,406円



道路の舗装や維持補修、河川や公園の整備、市営住宅改修など

農林水産業費 23,793円



農業の振興を図るための支援や生産基盤整備など

商工費 15,168円



商工業の振興を図るための支援、企業立地、観光など

消防費 13,133円



防火・消火活動、消防車両の整備、防災活動など

議会費 4,626円



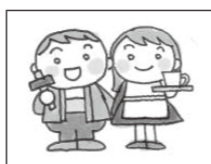
議会の運営、議員の報酬など

災害復旧費 4,216円



災害によって生じた被害の復旧など

労働費 338円



労働者福祉、職業訓練など

その他 788円

住民基本台帳人口・世帯数
(平成25年3月31日現在)
人口 63,445人
世帯 23,676世帯

ホームページでも見ることができるんだね。



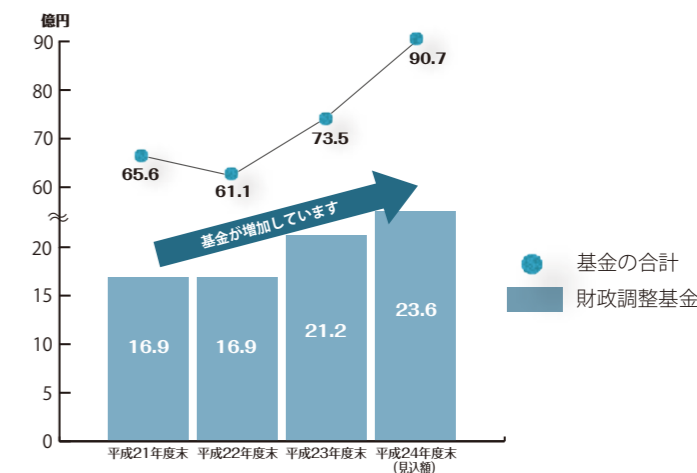
財政状況および財政計画の概要は、市ホームページ (<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>) で公表しています。

☎本庁舎財政課 ☎1111 内 2332

■財政調整基金と全基金合計の推移

市の貯金に当たる基金は、教育・文化の振興や福祉の向上など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。

※財政調整基金は、東日本大震災のような予期しない収入の減少や不時の支出の増加に備えるために、積み立てを行っている基金です。

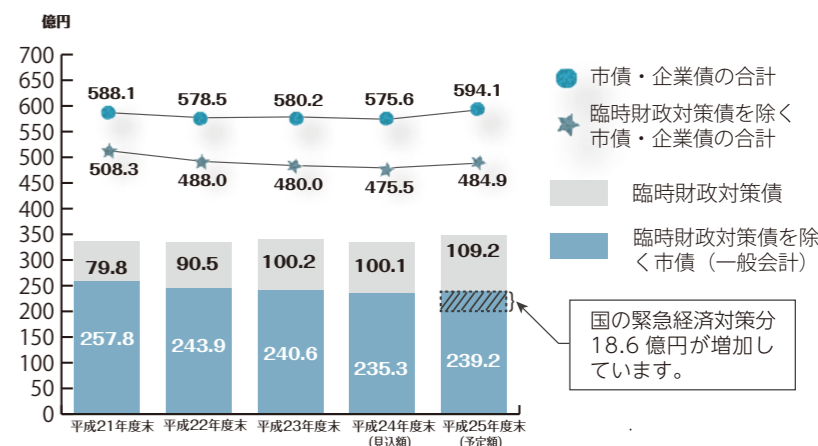


■市債・企業債残高の推移

市の借入金に当たる市債(臨時財政対策債を除く)・企業債は、国の緊急経済対策にともなう市債(補正予算債)を発行したことにより、増加しました。

市民1人当たりの起債残高(借入金)は、合併翌年度(平成18年度)には86万1千円ありましたが、今年度は76万5千円となり、着実に減少しています。

※補正予算債と臨時財政対策債は、後年度の普通交付税でまかなわれるため、実質的に市の負担とはなりません。



■特別会計

会計名	予算額	対前年度比 %
国有林野払受費	18万5千円	0.0
教育財産	55万7千円	△0.2
小田川財産区	87万7千円	△85.7
大屋財産区	14万4千円	0.0
樋ヶ沢財産区	28万1千円	18.1
土地造成事業	2,343万7千円	△1.4
国民健康保険	67億54万7千円	1.5
後期高齢者医療	5億2,627万7千円	1.3
介護保険	46億8,916万1千円	0.6
地方卸売市場	2,328万円	△6.3
公共下水道事業	18億7,467万7千円	7.9
農業集落排水事業	11億4,717万9千円	5.5
個別排水処理事業	6,678万3千円	9.6
簡易水道事業	5億6,524万3千円	70.0
合計	156億1,862万8千円	3.8

■公営企業会計

会計名	予算額	対前年度比 %
水道事業	15億1,288万7千円	△0.5
工業用水道事業	6億5,175万9千円	231.8
合計	21億6,464万6千円	26.1

1人当たりの借入金は9万6千円も減っているんだね。これからも貯金を増やして、借入金を減らしていくには、しっかりした将来設計が大切だね。

